

福井県のエネルギー研究開発拠点化計画が目指すもの

若狭湾エネルギー研究センター エネルギー研究開発拠点化推進組織所長
来馬 克美

福井県は、地域と原子力の自立的な連携を目指して、平成17年3月に「エネルギー研究開発拠点化計画」を策定しました。この計画は、原子力発電所を単なる発電の「工場」ととどめることなく、さまざまな原子炉が多く集積しているという本県の特徴を最大限に活かして、福井県を原子力を中心としたエネルギーの総合的な研究開発拠点地域とするためのものです。

拠点化計画が目指すもの…。

● 国際的な研究機能の集積

- 研究機関等の集積による国際的な研究の推進
- 国内外から優秀な研究者が集う交流の場の形成



● アジアの安全技術・人材育成への貢献

- 大学など関係機関の連携による人材育成の環境整備
- アジアをはじめとした海外研修生の受入れによる国際貢献



● 地域産業への貢献

- 原子力関連の技術移転や廃止措置による地域産業の発展
- 原子力・エネルギー関連企業の立地

